

あっと驚く 韓国語の比喻表現

経営学部

田川 光照

筆者は、韓国のKBS放送のサイト (<http://www.kbs.co.kr>) をよく利用している。このサイトはおもしろく、KBSのテレビ放送やラジオ放送をライブで視聴することができるほか、テレビニュースの SCRIPT やラジオドラマのシナリオなどを読むことができるのである(注)。そのラジオドラマの中に、KBS第1ラジオが毎週日曜日午前11時5分から放送している「イ・ミョンスク 弁護士 家庭法院 (이명숙 변호사의 가정법원)」というシリーズがあり、最近はこのシリーズのシナリオを集中的に読んでいます。ちなみに、このドラマは、ごく最近実際に起こった事件をドラマ仕立てにして再現し、その中で関係する法律の解説や、当事者の話などを挿入しており、読んでいてあきないのです。

たとえば、このような話がある。発端は1970年頃、妻子ある身でありながら浮気性の男がある未亡人にほれるのだが、離婚しないかぎり自分の家に入ったりしてもらっては困ると未亡人に言われる。すると、その男は妻に何も言わないままこっそりと離婚届を出してしまう。こうしてその男は未亡人の元に通うことになるのだが、まもなく未亡人の家で急死する。その男の妻は、夫の死亡届を役所に出す際に、自分が知らない間に離婚したことになっており夫の戸籍から除籍されていることを知る。しかし、彼女は女手一つで子供たちを育てなければならぬ生活に追われて、そのまま放置してしまったのである。それから30年ほどの歳月がたち、70才を過ぎるころから、彼女は夫の戸籍上で死を迎えたいと切に願うようになる。子

供たちは、当初、あんな父親だったし、戸籍上のことはどうでもいいのではないかと言うのだが、年老いた母親の願いは強まるばかりである。結局、子供たちは母親の願いをかなえてやるのが最高の親孝行であると考えようになり、離婚無効訴訟を起こすことになる。その結果、2002年8月9日、ソウル地方家庭法院(家庭裁判所)は離婚無効の判決を下し、戸籍が原状回復される。では、この訴訟は誰が誰を訴えることで提起されたのか。夫が生きていれば、妻が原告となり夫が被告となるが、夫がすでに死亡しているこのケースではそういうわけにはいかない。そこで、子供が原告となり、母親を被告として訴訟が提起されたのである。夫の死後1年以内であれば、妻が検事を相手に訴訟を起こすという道もあるが、このケースは夫の死後30余年が経過しているために、残された唯一の道が上のやり方であったということである。

このような離婚や不倫にまつわる話、金銭のトラブルをめぐる話、医療事故の話、家庭内暴力の話など、日常生活の中で起こった実話を素材にしており、韓国の世相をかいま見ることができるのである。

さて、前置きが長くなったが、このシリーズのシナリオを読んでいて出会った、あっと驚く表現、日本語では考えにくいような比喻表現をいくつか紹介したいと思う。

敷居が擦り切れてなくなる：これは上で概要を紹介した話の中にあつたものである。離婚届を出してきたと言う男に、未亡人が自分の家への出入りを許す時に次のように言う。이제 우리 집 문턱 닳아 없어지겠네. 直訳すると、「これで我が家の敷居も擦り切れてなくなるわね」となる。履物の底あるいは衣服の裾が敷居にあたつて、敷居が擦り切れるくらい足繁く通って来てちょうだいね、ということである。

たい焼きの型から抜き出したようだ：そっくりであることの比喻表現で、自分の出生に疑問を持った少年が、本当のことを言ってくれと父親に迫ると、父親が実の子供であることを納得させようと、목욕탕에 가면 사람들이 너하고 나하고, 붕어빵

틀에서 찍어낸 거 같다고 하잖아 .> と言うのである。直訳すると、「銭湯へ行くと、人々が、おまえとおれとはたい焼きの型から抜き出したようだと言うじゃないか」となる。つまり、たい焼き同士のようになんかだということである。まともな日本語に訳し換えると、「銭湯へ行くと、おまえとおれとは瓜二つだと言われるじゃないか」となるが、たしかに、2つの瓜よりも2つのたい焼きの方がそっくり度は高いなあ、と妙に感心させられる。



舌をかんで死ぬほどの恨みがあっても:もちろん、「どんなに大きな恨みがあっても」の意味で、原文は次の通りである。혀를 깨물고 죽는 한이 있더라도 개네들한테까지 피해를 입히진 않을꺼야 . 和訳すると「舌をかんで死ぬほどの恨みがあっても、その子たちまで巻き添えにすることはできませんよ」となるが、恨(한)の文化を彷彿させる表現である。なお、않을꺼야は않을거야を発音通りに表記したもの。

肝が腹から外に出る:夫婦げんかでのやり取りの中で出てくる。女房が야근하고 들어온 아내한테 빨리 밥 차리라 그러는 남편은 간이 배 밖으로 나와도 한참 나온 남자야 . («夜勤して帰ってきた女房に早く飯作れなんて言う亭主は、肝が腹の外へ出て出っ放しの男だわ」と言うので、亭主が내 간이 배 밖으로 나왔음 니 간덩이는 부어도 단단히 부은 거야 . 빨리 밥이나 차려 . 뱃가죽이 등에 붙었어 . («おれの肝が腹の外へ出ているのなら、おまえの肝っ玉は据わりすぎでかちかちに腫れた肝っ玉だ。さっさと飯でも作れ。腹の皮が背中にくっついた」と言い返すのである(나왔음は 나왔으면を、니는네を、それぞれ発音通りに表記したもの)。「肝が腹から外へ出て出っ放しの男」というのは「普通でない男」「異常な男」の意味だ

そうである。また、亭主が言い返している「おまえの肝っ玉は据わりすぎでかちかちに腫れた肝っ玉だ」は간덩이가 붓다をふまえている。「肝っ玉が据わって大胆になる」を意味する熟語であるが、文字通りには「肝っ玉が腫れる」である。韓国語には喧嘩の時に使う単語や表現がたくさんあるそうだが、それにしてもすさまじい。なお、「腹の皮が背中にくっついた」は日本語での表現とまったく同じである。

上のような表現に出会っていると、学習書に出てくる表現や文章がなんとも味気ないものに思われてくる。しかし、どの外国語の勉強でもそうだと思うが、入門・初級の段階では、基本的な単語、表現、文法事項などを身に付けるためには、どうしても無味乾燥な会話例や文章などで学習せざるをえない面がある。それを我慢しきった時に、新しい世界が開けるのではないだろうか。

なお、筆者は、上に紹介したような使いそうにはないがおもしろい表現や単語、할 말이 있으면 해 봐 . («言いたいことがあったら言うてみる») のような実際に使いそうな表現や単語で、入門・初級レベルの学習書に載っていないものであつて、Webページ上 (<http://marquis.aichi-u.ac.jp>) に公開しているので、興味があればアクセスしてみてください。

(注) テレビ放送やラジオ放送をライブで視聴したり、オンデマンドで提供されている放送済みテレビニュースを視聴するためには、Webページ上で会員登録(회원가입)(無料)の申し込みをする必要がある。その際、海外会員登録(해외회원가입)を選び、実名(실명) ID(아이디)、パスポート番号(여권번호)、パスワード(비밀번호)、E-mail アドレス(E-mail 주소)などを入力し、趣味などについてのアンケートに答えなければならない(けっこうたくさんあるが、回答は選択肢の中から選ぶだけで書き込む必要はない)実名はローマ字でよい(記入欄が小さく、筆者は名前を途中までしか書き込めなかったが、問題はなかった)、IDとパスワードもローマ字と数字の適当な組み合わせでよい。手続きを終えると、2~3日後に登録が完了し

た旨の(韓国語で)E-mail が送られてくるので、以後、加入申込時に入力したIDとパスワードでログイン(로그인)すればよい。なお、テレビニュースのスク립トやラジオドラマのシナリオを読むだけであれば、会員登録の必要はない。注意しなければならないのは、テレビニュースのスク립トと上に紹介した「イ・ミョンスク弁護士の家法院」のシナリオはInternet Explorerなどのブラウザ上で読むことができるが、それ以外のラジオドラマのシナリオは「アレア・ハングル」という韓国で一般的に用いられているワープロ・ソフトのファイル形式で提供されており、そのソフトがないと読めないということである。ただし、2002年3月16日以前に作成されたものは、ブラウザ上で読むことができる。(以上、2002年11月末現在)

生きた韓国語の宝庫なので、利用することをおすすめする。2年間、韓国・朝鮮語を第一外国語としてまじめに熱心に勉強した人であれば、大丈夫だと思う。ただし、100%理解しようとせず、概要が分かればよいという気軽な態度が大事で、そうでなければ挫折するであろう。また、大修館から出版されている『スタンダード・ハングル講座』の第5巻(ハングル読本)を通読しておくことをおすすめする。分かって分からなくても(内容が非常に高度で分からなくても当たり前である)これを通読しておく、とくにドラマのシナリオを読む時に役立つ。

